

市政記者クラブ 各位

長寿社会課

令和8年5月臨時市議会について

●臨時議会に提案する補正予算の概要について

一般会計

千円

1	介護保険事業特別 会計繰出金	25,298	宇久島内の特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護が5月末で廃止となることから、短期入所生活介護の代替となる宿泊サービス実施のための財源として、一般会計から繰出を行うもの。
2	宇久島内特別養護 老人ホーム廃止に伴 う対応事業費	5,188	宇久島内の特別養護老人ホームが廃止になることに伴い、島外へ転所する必要が生じた入所者等に対し、早急に渡航費用の助成を行うもの。併せて、短期入所者生活介護の代替となる宿泊サービスを実施するための環境整備を行うもの。

特別会計

千円

1	離島介護サービス 確保事業費	25,298	宇久島内の特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護が5月末で廃止となることから、短期入所生活介護の代替となる宿泊サービス実施のための運営費用の補助を行うもの。
---	-------------------	--------	--

長寿社会課  
担当：池田・釜谷  
TEL0956-25-9726

## 調査概要

---

### ●調査目的

- ・三浦地区将来構想策定および、その実施プロセスに対する市民・近隣住民の意見反映

### ●調査期間

- ・令和8年6月1日（月）～7月31日（金）

### ●調査対象（エリア・対象者）

- ・エリア…三浦地区
- ・対象者… ①佐世保市民  
②近隣住民（近隣事業者含む）

「三浦地区将来構想」策定に向けた  
デジタル市民参加型調査の実施について

# 調査エリア

## ● 調査エリア：三浦地区



イベント広場の  
利活用

ターミナル再編  
宿泊施設

朝市・食を核とした  
万津町活性化

# 調査手法・内容

## ● 調査手法

- ・ デジタル民主主義プラットフォーム「Liqlid(リクリッド)」による市民意見募集
- ・ オンライン上・その他の手法で収集した市民意見を「Liqlid」によりAI分析
- ・ 株式会社Liquitousとの社会実験協定に基づく実施



「デジタル民主主義」の統合的なプラットフォーム



**1**  
市民参画のUI(入口)

- 行政から市民への情報提供
- 発散的な意見募集 (アイデア募集・投票)
- パブリックコメント
- 参加型予算編成
- アンケートフォーム

**2**  
市民の声のデータベース

Liqlidで収集した市民意見の取り込み・データベース化

- 外部アンケートフォーム等で収集した市民意見の取り込み・データベース化
- 紙アンケート結果をOCR(光学的文字認識)し、他の意見データと統合管理
- 音声データを文字起こしとして保存し、他の意見データと統合管理
- 庁内アンケート項目の標準化支援機能

**3**  
総合的な分析プラットフォーム

- 論点分析(トピック分析)
- 象限分析
- ワードクラウド・ポジティブ/ネガティブ分析
- 計画素案との紐付け
- 計画反映のサジェスト

株式会社Liquitous

<p>代表取締役CEO <b>栗本 拓幸</b></p> <p>全庁的な仕組みづくり 概念整理 導入支援 研修 官民連携 ガイドライン策定支援 ワークショップ</p> <p>2020年にLiquitousを設立。設立からわずか6年で現在では国内外100以上の官公庁・自治体等と連携。独自開発のオンラインPF「Liqlid」を用いる市民と行政が共創するプロセスの構築・企画設計・実施を担い、一員として現場マネジメントに従事。総務省 経営財務マネジメント強化事業アドバイザー、大阪府 合衆形成研究会構成員、ハードウェア・デジタル市民参画MOOCアドバイザー(日本国内から唯一選出)</p>	<p>取締役 / 政策企画チーム ディレクター <b>藤井 海</b></p> <p>市民参加設計 研究連携 研修 取組の評価(アセスメント) リンクラボ 導入支援</p> <p>設立直後よりLiquitousに参画。「Liqlid」を活用した計画・ビジョン策定等の市民参加プロジェクトを多数マネジメント、市民参加プロセスの定量的分析を専門とし、国際学会での発表実績も豊富。現場での実践と研究を往還する。立命館大学 客員研究員(令和6年度へ)</p>
<p>政策企画チーム シニアサーチャー <b>石本 玲子</b></p> <p>公共施設マネジメント 一級建築士 官民連携 地域DX 研修 グラフィックデザイン</p> <p>建築職として高砂市役所(兵庫県)入庁。営業を経て公共施設マネジメントの担当を経て、企業職にて地域DXを担った(最終職位:課長役)。2024年にLiquitousに参画。公共施設に係る市民参画プロセスを担当。兵庫県(兵庫県)行政改革推進懇話会委員、一級建築士グラフィックデザインを得意とし、共著に「描いて描くグラフィック・レコーディング」(学芸出版社)</p>	<p>政策企画チーム シニアサーチャー <b>鈴木 賢史</b></p> <p>市民と行政の共創 リンクラボ 研修 ガイドライン策定 導入支援</p> <p>2011年に日野市役所に入庁し、企画経営課にて第6次基本構想や「日野地域 未来ビジョン2030」策定、「Liqlid」の地域共創プラットフォーム導入を担当(最終職位:係長)。2026年3月よりLiquitousに参画。行政経験を活かして、企画部門での「Liqlid」全庁導入と共創の仕組みづくりを担当。</p>
<p>Liquitous チーム ディレクター <b>西村 和</b></p> <p>生成AI活用 システム開発 要件定義 ライブ配信支援</p> <p>エンジニアや映像設備等のキャリアを経て、2022年にLiquitousに参画。元々は「Liqlid」のいち市民ユーザー。現在は開発チームを牽引し、自治体や住民の多様な声や課題の場へ積極的に足を運んでいる。そこで積み取ったリアルな声や課題を、AI等の先端技術を活かしながら即座にLiqlidへ反映・実装していく機動力を強みとしている。</p>	<p>Liquitous チーム エンジニア / アクセシビリティスペシャリスト <b>宮本 佳樹</b></p> <p>アクセシビリティ UI/UXデザイン システム開発</p> <p>Webサイト制作に、7年間従事。情報設計・UIデザイン、フロントエンド実装まで一貫して担当。その後、Webアプリケーション開発およびアクセシビリティ(改善業務)に3年間携わり、設計段階からのアクセシビリティ実装・運用改善を推進。2025年にLiquitousに参画。デザインおよびエンジニアリングの両面からプロダクト開発を担い、アクセシビリティ向上に向けた上流設計・実装基礎の構築を担当。</p>
<p>PRチーム ディレクター <b>松尾 明子</b></p> <p>広報PR メディアコミュニケーション 広告 シナジーシップ教育</p> <p>2014年に(株)リクルートに入社。SUUMOカンパニーの広告企画を担当し、地域に配布する折込チラシや、各地で開催されるイベントの設計、全国展開のCM企画まで幅広く担当。2019年に退社後も、生涯教育プログラム等、様々な広報企画や広告運用を経験。各地域でのLiquitous実装にあたって、市民と行政のコミュニケーションのデザインをサポート。</p>	

# 「三浦地区将来構想」策定に向けた デジタル市民参加型調査の実施について

## 「Liqlid(リクリッド)の概要」

### ① Liqlid上で、自由記述で意見を投稿

### ② LiqlidのAI分析機能で分析・可視化



「三浦地区将来構想」策定に向けた  
デジタル市民参加型調査の実施について

## 調査手法・内容

---

### ●調査内容

#### ①市民全体向け

「エリア将来像」、「回遊・連携」、「市民参画」、「その他自由意見」

#### ②近隣全体向け

「住環境と安全」、「日常の利用」、「賑わい創出」、「その他自由意見」

「三浦地区将来構想」策定に向けた  
デジタル市民参加型調査の実施について

# スケジュール

## ●調査結果の反映

検討項目	5月	6月	7月	8月
意見聴取		市民・近隣住民へ 意見聴取		調査結果 集計、反映
三浦地区 将来構想	地区全体の将来構想(基本方針)の整理／策定			

反映

# 出水期への備え 防災気象情報が変わります

## ●運用開始日

気象庁が5月29日から運用開始予定

## ●変更点

### ●警戒レベルとの整合

河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等が住民がとるべき行動に対応した5段階の警戒レベルと整合

### ●名称にレベルが追加

警報や注意報の名称の前に、レベルと数字の追加

例：大雨警報 → レベル3大雨警報

### ●危険警報の新設

警戒レベル4相当情報として、「危険警報」が新設

新しい防災気象情報の情報体系					(避難情報) 取るべき行動
警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	(緊急安全確保) 直ちに安全確保
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	(避難指示) 危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	(高齢者等避難) 避難に時間を要する人は 早めに避難
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難場所や 非常持ち出し品等の確認
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める



# 出水期への備え 日頃から準備しておきましょう

## ●自分で出来る災害への備え（自助）

### ●ハザードマップで自宅の危険性を調べる

現在、佐世保市のハザードを確認できる資料

- ・洪水ハザードマップ
- ・土砂災害ハザードマップ
- ・ため池ハザードマップ
- ・高潮浸水想定区域図
- ・津波災害警戒区域図
- ・南海トラフ地震による津波浸水図
- ・ゆれやすさマップ



佐世保市  
ハザードマップ

防災ポータルでも確認ができます

佐世保市防災ポータル>佐世保市防災マップ(ハザードマップ等)>レイヤー一覧で選択



### ●自分と家族が避難を開始するタイミングを決める

自宅の周辺に災害の危険性があるときは、自分や家族の状況に応じて避難するタイミング(レベル3高齢者等避難またはレベル4避難指示)を決めておきましょう

警戒レベル	とるべき行動	
1	災害への心構えを高める	災害発生の危険性はまだ低い段階ですが、最新の情報などに留意するなど、災害への心構えを高めてください
2	ハザードマップ等で避難行動を確認	ハザードマップ等で災害の危険性のある区域や避難場所、避難経路、避難のタイミング、非常用持ち出し品の再確認など、避難に備え自らの避難行動を確認しておきましょう
3	高齢者や要介護者等は危険な場所から避難(高齢者等避難)	避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方、避難を支援する方などは危険な場所から安全な場所へ避難しましょう
4	危険な場所にいる人は全員避難(避難指示)	速やかに危険な場所から安全な場所へ避難しましょう
5	「命」を守るための最善の行動を(緊急安全確保)	すでに災害が発生している(安全な避難ができない)状況ですので、命を守る最善の行動をとりましょう

# 出水期への備え 日頃から準備しておきましょう

## ● 備蓄品や非常持出品を用意する

### 家庭での備蓄

物資が供給されるまでの数日分(最低3日分)の備えが必要です  
下記を参考に、自分と家族の生活の中で必要なものを考えて、準備しておきましょう  
普段の食料品を少し多めに買い置きして、消費した分を補充する「ローリングストック法」なら、無駄にならずに簡単に備蓄できます

#### 食料品

- 飲料水(1人1日3L)
- 米、アルファ化米
- インスタントラーメン
- 缶詰・レトルト食品
- チョコレート・お菓子
- 
- 

#### 生活用品

- カセットコンロ・ガスボンベ
- 給水用ポリタンク
- ティッシュペーパー・ウエットティッシュ
- ラップ・ビニール袋
- 紙皿・紙コップ・割りばし
- 簡易トイレ(1人1日5回分)
- ライター・マッチ
- 
- 
- 



### 非常持ち出し品

下記を参考に、いざ避難するときに自分や家族に必要なものを考え、書き出してみてください  
そして、可能な物はあらかじめリュックサックに詰めて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう  
佐世保市では自宅の全壊等により自らの備蓄品を持ち出せない被災者用として、避難者の3日分の備蓄をしていますが、自主避難の段階では食料等は避難者が持参することが原則です

#### 食料品

- 飲料水
- 調理不要食
- チョコレート・お菓子
- ミルク

#### 生活用品

- ウエットティッシュ
- マスク・常用薬
- 軍手
- タオル
- 生理用品
- 紙おむつ
- 毛布
- モバイルバッテリー
- 懐中電灯・乾電池
- 携帯ラジオ
- 水不要シャンプー

#### 衣料品その他

- 下着・靴下
- シャツ・ズボン等
- 防寒具・雨具
- 携帯用カイロ
- 冷却シート

#### 貴重品

- 小銭
- 健康保険証等コピー
- 通帳・印鑑
- 家族の連絡先メモ

#### 我が家の必需品

- 
- 
- 
- 

## ● ペットの避難先を考えておく

同行避難ができる避難所・・・世知原、清水、三川内、山澄地区コミュニティーセンター

## 日頃からペットの防災対策を

- ・あらかじめペット同行避難ができる避難所への経路を確認
- ・ペットと一緒に避難できる親戚や知人宅への避難や、ペットを預かる施設の利用を検討・確認
- ・不必要に鳴かない、トイレは決められた場所でするなどのしつけをしっかりと行う
- ・避難所にはペット用の備蓄品があまりないため、エサや薬、シーツなどの必要な物は事前に準備する
- ・ケージやキャリーに普段から慣らしておく
- ・迷子札やマイクロチップを装着する
- ・犬の場合は鑑札と注射済票を付ける
- ・ワクチン接種やノミ・ダニの予防などの健康管理を行う



## ● 防災ハンドブックを配布します

これらの情報をまとめた防災ハンドブックを作成し、  
広報させば7月号と同時に全世帯へ配付します  
また、ホームページ上でも5月末ごろ公開予定です  
ぜひ一度ご確認ください

令和8年6月 保存版

佐世保市

# 防災 ハンドブック

こんなとき、どうする？

～災害から命を守るのは自分自身です～  
自分の地域を知って、災害に備えましょう!!

# 出水期への備え 地域の防災訓練に参加しましょう

## ●みんなで出来る災害への備え（共助）

- ・ 地区自治協議会の防災訓練に積極的に参加
- ・ 避難所までの自分の避難経路や危険箇所を確認
- ・ 地域の人と顔の見える関係をつくり、お互いに助け合う体制をつくる
- ・ 訓練の時から、避難所の「運営側」の目線を持つ

### 訓練で実施する内容例

	実施項目	内容
1-1	情報伝達、避難訓練	・ 避難情報の発令を想定し、防災行政無線や連絡網を活用して情報伝達を実施し、避難所へ徒歩にて避難する。 ・ 要援護者（想定）を、車イスやリヤカーを使用して避難させる。
1-2	情報伝達訓練	・ 避難情報の発令や避難所開設の情報連絡を、市対策本部から地区自治協議会に対し情報伝達（FAX、メール等）し、連絡を受けた地区自治協議会は町内会連絡網等を活用し自治会長へ情報伝達を実施する。自治会長等は、自主運営地域避難所の開設準備（備蓄品等）を行う。
2	避難所運営訓練	・ 避難所（集合場所）において避難者名簿を作成やベッド・パーティションの設営などを行う。
3	各種体験訓練	・ 消火訓練、煙体験、地震体験、119番通報訓練、応急搬送訓練、心肺蘇生訓練などを実施する。（実施項目を選択）
4	給食訓練・非常食体験	・ 避難所生活を想定し、カレーや豚汁など炊き出しを行い参加者にふるまう。（感染症対策等で炊出し困難な場合は非常食体験に代替え）
5	図上訓練	・ 地区防災マップ等を活用し地区の危険箇所や災害時の行動について確認する。
6	地区の安全点検 （地区防災計画の検証）	・ 地区防災マップ等を活用し地区の危険箇所等の確認（街歩き）を行い、策定した防災計画の検証を行い、参加住民に周知する。
7	防災講習	・ 災害に関する基礎知識や防災情報などの講習を行う。

# 出水期への備え 地域の防災訓練に参加しましょう

## ●今年度の地区防災訓練（予定）



北地区	6月13日（土）	中里・皆瀬地区	10月18日（日）
九十九地区※	6月21日（日）	小佐々地区	11月8日（日）
世知原地区	7月11日（土）	宇久地区	11月28日（土）
江迎地区	7月19日（日）	鹿町地区	R9年2月14日（日）
西地区	10月3日（土）	崎辺地区	R9年2月21日（日）

※市長参加予定